

## 交換留学 帰国後報告書 (1)

記入年月日	2020年1月24日		
学部・研究科/学年	経済学部・研究科	4年	留学開始時 4年
留学先大学	エバーグリーン州立大学		
留学先所属学部・研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった		
留学期間（履修期間）	2018年	9月 14日	～ 2019年 6月 15日

### I. 交換留学の選考を受けるまで

① 留学先の国、大学を選んだ理由を教えてください。
経済学の視点から途上国の教育問題について研究していたが、教育学の視点から教育の本質について学びたかった。また、英語で専門的な科目を学べるレベルの英語力をつけたかった。
② 交換留学の選考を受けるまでに語学対策等準備したことを教えてください。
選考基準の TOEFL 対策を中心に、問題集を解いていた。スピーキングやライティングは独学では難しいところもあり、10ヶ月ほど日本で語学学校の TOEFL コースを受講していた。

### II. 選考後の留学の準備について

① ビザの種類	J1 ビザ
② ビザ申請のための必要書類（在学証明書、預金残高証明書等）	
ビザについては詳しく覚えてはいないが、領事館のホームページなどを参照に問題なく申請できた。	
③ ビザの申請手順と申請場所（機関名、都市）	
米国総領事館（大阪）	
④ 面接の有無	<input checked="" type="checkbox"/> あり（ <input type="checkbox"/> オンライン） <input type="checkbox"/> なし
⑤ ビザ発行までの日数	日
⑥ ビザ申請で問題になったこと、注意点があれば教えてください。	
特に問題はなかった。	
⑦ 荷物を別送しましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑧ 別送した場合は、発送方法と費用、受け取りまでの日数を教えてください。	
帰国の際、「My Baggage」というサービスを使って、スーツケースを一つ別送した。費用は1万5千円ほどだった。10日ほどで指定先に届いた。	
⑨ 荷物を別送する際の注意点があれば、教えてください。	





その他（	）
⑧ 現地の携帯電話の使用について教えてください <input checked="" type="checkbox"/> 現地で SIM を購入 <input type="checkbox"/> 現地の携帯電話会社と契約 <input type="checkbox"/> ポケット Wi-Fi を持参 <input type="checkbox"/> 日本の携帯を使用      その他（	
⑨ 現地の携帯電話の使用について追記する情報があれば、書いてください。 Verizon の SIM カードを使用した。	
⑩ 現地のインターネット使用においてアドバイスがあれば、教えてください。 キャンパス内ではほとんどフリーWi-Fi が使え、不便となることはない。	
⑪ 日本から持参する方がいいもの、持参する必要がなかったものを教えてください。	

## VI. 大学の授業や活動について

① 留学先の大学、学部等の特徴や雰囲気について教えてください。			
エバグリーン州立大学は学部がなく、自分の受けた科目を幅広く受講できる。特にアートの授業が多く、県立大学などでは受講できないようなクラスも多々ある。もともとヒッピーの大学だったこともあってか、いい意味でユニークな生徒が多い。授業は講義スタイルではなく、ディスカッションなどの割合が多く、発言の機会が非常に多い。教授を下の名前で呼ぶなど、生徒と先生の距離が非常に近く、非常に学びやすい環境であった。自分の呼ばれたい代名詞（He/She/They など）を紹介するなど、リベラルな場所であった。			
② オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった	<input type="checkbox"/> なかった	
③ オリエンテーションの参加	<input type="checkbox"/> 必須	<input checked="" type="checkbox"/> 任意	
④ オリエンテーションの内容について教えてください。			
留学生向けオリエンテーションでは、キャンパスツアーや大学周辺（ダウンタウンメイン）ツアーなどがある。生活に必要なものの買い物に連れていってくれるショッピングデーを用意してくれた。新入生向けオリエンテーションは、小グループディスカッションなどがあった。			
⑤ 履修登録のタイミング	<input checked="" type="checkbox"/> 出発前	<input type="checkbox"/> 到着後	
⑥ 登録方法について教えてください。			
留学担当のスタッフに事前にメールで第3候補まで伝える。人気の授業であっても、留学生は極力希望の授業を履修できるよう努めてくれる。			
⑦ 授業1コマの時間	分	⑧ 1週間の授業コマ数	コマ
⑨ 学修面で受けられるサポートと、実際どのように利用したか教えてください。			
（上記の⑦と⑧：授業によるが、16単位の授業は、週3日9:00～15:00に行われることが多い。ランチタイムとショートブレイク有。） 英語の壁から、課題に時間がかかったり、授業についていけなくなったりした時は、教授とコ			

<p>コミュニケーションをとっていた。親身になって留学生の状況を理解してくれる教授が多く、授業外でも気軽に相談にのってもらえる。利用はしなかったが、ライティングセンターというレポートなどを書く時のサポートをしてくれるところがある（留学生も使える）。</p>
<p>⑩ 授業を受けるために、努力や工夫したことを教えてください。</p>
<p>上記にも書いたが、教授とのコミュニケーションを大事にしていた。課題の量や授業の濃さに驚いたが、課題だけでなく、予習や復習などを行っていた。また、クラスメイトとグループ学習を行い、自分一人で理解できないところなどは質問ができる環境を作っていた。</p>
<p>⑪ 授業の登録や、受講するうえでアドバイスがあれば教えてください。</p>
<p>エバーグリーン州立大学は幅広い分野を学ぶことが一つのメリットである。県立大の専攻と似た科目を深めるのも良いし、日本の大学で学べないような分野に挑戦することもできる。各学期の week6 くらいに次の学期の授業の説明会のようなものがあるので、そこで興味のある授業の教授としっかりと会話をし、授業内容、授業スタイル、課題、試験など分からないことをどんどん聞いて、取る授業をじっくりと考えることをお勧めする。また、エバーグリーン州立大学の特徴の一つの教授と生徒の距離が近いことを存分に生かし、受講後も何事もどんどん相談や質問すると良い。母国語でないため、現地の学生より人一倍の努力が必要だが、サポートしてくれる人はたくさんいる。</p>

## VII. 学生生活について

<p>① 留学先でどのように現地の学生や留学生と交流を深めましたか？</p>
<p>部屋にこもらず積極的に外に出て、交流の機会を作っていた。時間があれば学生センターのような SEAL と呼ばれる場所に行き、様々な人と会話をし、コミュニティを広げていった。</p>
<p>② クラブ活動や地域の活動、ボランティアなどに参加した人はその内容を教えてください。</p>
<p>アルバイトで日本語クラスのアシスタントティーチャーをして、お小遣い稼ぎや繋がりを作っていた。また、図書館に語学を学ぶスペースがあり、週2回そこで、日本語を勉強している生徒と交流などしていた。日本語を話せるということは、非常に大きなメリットであるので、それが生かせる機会を存分に生かしていた。他にも、バレーボールサークルで週1回活動をしていた。そのサークルのメンバーと地域のバレーボール大会などにも参加した。</p>
<p>③ 週末や休暇の期間はどのように過ごしましたか？</p>
<p>週末は、友達の家に行ったり、ダウンタウンに行ったり、キャンパス内の森やビーチでリラックス。長期休暇は、少し遠出をして、バスでカナダのバンクーバーや、飛行機でニューヨークやシカゴへ旅行をした。</p>
<p>④ 留学中に就活をした人は、どのようなことをしたか教えてください。</p>
<p>⑤ 現地の生活に役立つ情報（フリーペーパー、雑誌、ウェブサイト、アプリ等）があれば、教えてください。</p>
<p></p>

VIII. 費用について

(総額)

① 留学にかかった費用合計	1,800,000 円
② 渡航費	200,000 円
③ 現地で払った保険代	円
④ 現地で払った医療費	円
⑤ 食費 (月 円)	円
⑥ 寮 (宿舎) 費 (月 100,000 円/期間 9 か月)	900,000 円
⑦ 携帯電話代 (月 4,000 円)	40,000 円
⑧ 教材、学用品	円
⑨ その他 (保険代、食費等 )	660,000 円
⑩ その他 ( )	円
⑪ 留学費用や生活費に関する事でアドバイスがあれば、教えてください。 学内に学生も対象となっている Food Bank が設置されていて、それを利用することも可能。	
⑫ 受給した留学奨学金と金額を教えてください。	
奨学金の名前 :	円
⑬ 留学奨学金についてアドバイスがあれば、教えてください。	

IX. 健康、危機管理について

(公開できる範囲で記入してください)

① 渡航前に加入した学研災付帯海外留学保険と危機管理サービス以外に、加入した保険があれば教えてください (留学先で加入を義務付けている保険や海外旅行保険等)	
留学先で義務付けられた保険にのみ加入した。	
② 留学中に体調を崩したり、怪我をしたことがありましたか	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
③ ②の時にどのように対処しましたか。	
④ 留学中に病院に通いましたか?	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ
⑤ 病院に行った方は、どのように病院を探しましたか。	

⑥ 留学中に気持ちがふさぎ込んだり、落ち込んだりしたことはありましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
⑦ ⑥の時留学先で誰に相談しましたか？	
⑧ 留学中、心理的に苦しいときに克服した方法があれば、教えてください。	
冬季は、雨や曇りの日が多く、現地の学生も含め気持ちがどんよりしがちであった。学期の終盤にもなると、課題や試験勉強に追われ、精神的にも体力的にも大変であった。そんな時は、一旦勉強をやめて、友達と遊んだり自分の好きなことに没頭したりして、リフレッシュしていた。	
⑨ 留学中困ったことや危険を感じたことと、対処した方法について教えてください。	
⑩ 現地社会（習慣、マナー、安全面）において、知っておくほうが良いことがあれば、教えてください。	
⑪ 出発前に県大や留学先から提供してほしかった情報があれば、教えてください。	
前年度から制度が変わり、留学先の学位がもらえないことを現地で知った。自分の情報不足でもあったが、制度などに大きな変更などがあれば提供して欲しかった。	

#### X. 今後の目標、留学の感想について

① 卒業予定年月	2020年 3月	(当初の卒業年月: 2019年 3月)
② 卒業・修了が遅れる見込みの場合、その理由と卒業(修了)までの予定を教えてください。		
4回生後期から留学したので、必然的に卒業が一年遅れることになった。帰国後の8月後半から就職活動を始め、10月に無事内定をいただけた。その後は、卒業論文に集中していた。		
③ 今後の目標、進路について教えてください。(留学前後で目標進路が変わった場合は、それも含めて書いてください)		
留学前は開発経済系の大学院に進学を考えており、途上国で教育支援関係の仕事をしたと考えていたが、学びたいことや興味が変わり大学院進学を辞め、グローバル企業への就職を考え始めた。無事内定をいただけたので、4月から就職予定である。中期的には、日本で経験を積んだのちに、海外勤務を目標に活躍していきたいと考えている。また、途上国や教育に興味があったが、今はジェンダーや人種の問題などにも興味を持つようになったので、仕事とはまた別にそういったことに関われることをやっていきたいと考えている。そこに関する具体的な目標はまだなく、模索中である。		
④ 留学生活の感想と、留学前と比べて考え方や意識の変化があれば教えてください。		
留学は非常に有意義なものであった。現地の学生と同じように英語で専門教科を学ぶことは大変ではあったが、それなりの英語力や度胸がついた。もともと学びたかった、教育学についても学ぶことができ、自分なりに満足のいくものとなった。また、英語力や学問だけでなく、		

授業や現地での生活を通し、物事の捉え方や考え方、価値観などを育むことができた。ますますグローバル化や多様化が広がる現代、そういった時代を生きていくためにも語学を超えたスキルを得たように感じた。違った文化で育った人たちや異なった文化自体をどのように受け取り接していくのか身をもって学ぶことができ、自分の中での価値観や視野を広げることができた。また、留学前あまり興味のなかった政治や社会問題についても、非常に敏感になり、自分の意見を持つようになった上、発信できるようになった。そういった意味でも自分にとってプラスになった留学生活であった。

⑤ 次に留学する人へのメッセージがあれば書いてください。

留学にはそれぞれ様々な目的があると思います。自分の留学をどんなものにするかは自分次第です。小さくても大きくてもしっかり目標を持って、笑顔で溢れる悔いのない留学生活を送ってください。何よりも楽しむことを忘れないで下さいね☺

## 交換留学 帰国後報告書 (2)

### 交換留学中の学修記録

記入年月日	2020/01/24		
学部・研究科/学年	経済学部・研究科	4年	留学開始時 4年
留学先大学	エバーグリーン州立大学		
留学先所属学部・研究科	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった		
留学期間	2018年	9月14日	～ 2019年6月15日

#### 単位について

留学先で取得した単位数合計	42 単位
本学で認定申請した単位数合計	42 単位
本学で認定された単位数合計	28 単位
<input type="checkbox"/> 単位認定の申請をしない 理由：	

#### ①

登録授業名 (現地言語で)	Political Economy and Social and Environmental Movements				
履修学期	Fall 2018	単位数	16 単位	週の授業回数	3 回
授業のスタイル <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> チュートリアル <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション <input type="checkbox"/> プロジェクト <input type="checkbox"/> 実験 その他 ( 3日間のフィールドトリップ )					
授業内容	講義を通し、アメリカの資本主義経済の歴史や政治経済の思想を学ぶ。映画や課題本などの内容のグループディスカッションを通し、アメリカの資本主義経済の中の人種や階級、ジェンダーなどに関する社会問題や環境問題などを学ぶ。3日間のフィールドトリップでは、オリンピック半島で先住民族や植民地の影響について学ぶ。				
試験・課題	試験：take-home-exam の中間試験と最終試験。 課題：毎授業、課題本のリーディングとその内容についてのレポート。毎週、経済学に関するミニクイズ。				

